

番号	第1案 ページ	見出し等	ご意見・ご指摘など	主旨	第2案 ページ	対応	関係部署等
1	25	障害福祉サービスの利用	相談支援事業者との契約やサービス提供事業者との契約など、必要なプロセスが抜けているのでは。	表記表現	21 38	訂正しました。	事務局
2	29 30		見づらいので、見開きページにするべきではないか。	表記表現	26-27	訂正しました。	事務局
3	32	現状と課題	町田市には、「まちとも」や「冒険遊び場」など…しかし、実際の利用率は、さほど高くない現状となっています。とは、どこと比べて高くないのですか？子どもセンター5館、子どもクラブ2館まちともの実施ほぼ小学校全校。冒険遊び場は、常設が2か所。施設数が違いすぎます。それに開園、実施日数も。単純に比較はできません。このような現状の中で、冒険遊び場の回答数は決して低いとはいえないと思います。	表記表現	29	【事務局提案】アンケート結果について、視点を変えて訂正しました。（「問7 主な外出先」から「問20 参加できるようにするために大切なこと」）	事務局
4	34	冒険遊び場の設置	自己責任というリスク？の意味が分からない。一般の人が思うリスクと冒険遊び場が思うリスクとハザードは違います。⇒障がいの有無に関わらず、その子のありのままを受け止められ、子どもの自発的な思いに従い、自然の中で様々な遊びや体験、人との交流を通し、子どもたちの感覚が開かれ成長できる場。	表記表現	31	訂正しました。	事務局
5	34	障がい児スポーツ教室	どのような手段で募集をかけて、どのようなスポーツの教室を行うか？	質問		年に一回、広報・HP、また特別支援学級へのチラシ送付により新規参加者を募集します。サン町田旭体育館・すみれ会館地下プールの二か所で開催しており、体育館はジョギングや体操等、プールは水慣れから各種泳法までの指導を行います。競技性のある内容ではなく、体を動かして楽しむレクリエーション事業です。	障がい福祉課
6	34	冒険遊び場の設置	障がいの有無に関わらず、参加できる様な環境整備を是非とも早急に行なって欲しい。車椅子の子どもでも介助者が楽にアクセスできる様に整備して欲しい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	児童青少年課
7	34	障がい児スポーツ教室	募集に関しては、アクセスしやすい様なシステムを利用して頂けると助かります。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	障がい福祉課
8	34	障がい者スポーツ大会	オリンピックの様に障がい者と健常者を分ける様な、大会ではなく、一緒に戦える様な種目も考えて取り入れて欲しい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	スポーツ振興課 障がい福祉課
9	37	I-1-(1)様々な活動への参加の支援	保護者Q20「積極的な社会参加のために必要なこと」では、「友だちや先輩などの存在」が最も多く、「地域の子ともと一緒に遊ぶ機会」も多い。冒険遊び場は、そうしたことが期待できることで、取組事業とすべきではないか。	表記表現	31	【事務局提案】冒険遊び場は、ご指摘のようなこと以外にも、様々なことが期待できる場所と認識しています。事務局としては現在の記載場所が、最も適していると考えています。	事務局
10	41	保育園等訪問支援の実施	相談支援員やコンシェルジュの増員で気軽に園からの相談を受けてアドバイスできる様にして欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
11	41 42	・未就学児への療育事業・未就学児療育の提供環境の検討 ・居宅訪問型療育事業の実施について	もっと人数を受け入れられる体制、すなわち場所と時間と人員を増やすべきである。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
12	42	児童発達支援及び放課後等デイサービスの質の向上	質の向上とは別に、「児童発達支援及び放課後等デイサービスの実施」として数値目標を記載します。質の向上については、P61「放課後等デイサービス事業者連絡会」で取り組むことが良いと考えます。	表記表現	59	【事務局提案】質の向上や情報共有を図るため、放課後等デイサービス事業者と児童発達支援事業者とすみれ教室で組織する「療育機関連絡会」を記載しました。これに伴い、「児童発達支援及び放課後等デイサービスの質の向上」「放課後等デイサービス事業者連絡会」を削除しました。	事務局
13	42		すみれ教室は民間の導入を含めて、どういう役割を果たしていくのか	質問		すみれ教室は、これまで行ってきた就学前の児童への療育サービスの提供に加えて、相談等の対象を0から18歳未満の子どもに拡大していきます。また、本計画を推進する役割を担うなど、町田市内の「子どもの発達支援」を担っていきます。	すみれ教室
14	42	児童発達支援及び放課後等デイサービスの質の向上	日増しに増加している放課後等デイサービスの実態をしっかりと市側が把握し、適切な支援が行われているのか、という調査・実質的にもしっかりとした実務監視を行なって頂きたい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 障がい福祉課
15	44	通常の学級における支援	必要性のないところには配置しなくてもよいわけですし、逆に対象になりうる子どもが多い学校にはそれに対応できるだけの数が必要になって来ると思います。今回の案では「全校に配置」となっています。全校に配置されることはありがたいことではありますが、必要なところに必要なだけ適切に配置するためには、一律ではなく、もう少し細やかな目配りが必要になると考えます。もし、この文章に「適正配置」の意味が含まれているならばその意図が伝わりづらく、残念な気がしますので表現の方法を一考いただけたらよいのではないのでしょうか。	表記表現	40	【事務局提案】2018年度以降の目標を「学校の状況に応じた配置調整の実施」に変更します。	教育センター
16	44	通常の学級における支援	「通常の学級における特別な配慮が必要な児童・生徒の支援を行うため、特別支援教育支援員を小・中学校全校に配置します。」とあります。今までは通常学級の中で気になる子がいた場合に補助として入っていたのは普通の教諭の免許をお持ちの方が多かったようですが、この「特別支援教育支援員」という人は特別支援教育について知識のある専門の方なのではないでしょうか、それとも、ともかく人手が必要、ということで特に専門知識のある方とは限らないということでしょうか。	質問		任用資格としては「心身ともに健康で特別支援教育に理解のある者」となっており、特に教員免許や専門の資格を要件としている訳ではありません。	教育センター

17	44	通常の学級における支援	また、先日の会議の時に公立小学校校長会の大泉委員の勤務されている学校では現在こうした支援の先生はいらっしやらないということでしたので現時点ですべての学校に配置されているというわけではないということですね。	質問		小学校では配置されていない学校もあります。	教育センター
18	44	通常の学級における支援	現在殆ど足りていない専門的の人員の増加、及び現行の支援員の永続的な維持もしくは増員を行ってもっと相談できる人数を増やせる様、また、親御さんの仕事・生活状況に対応してできる限り土日の活動も行なって欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育センター
19	44 45		医療的ケア児の受け入れについては「小中学校」を入れるべき	取組追加	39 61	【No.51に同様のご意見あり】 【事務局提案】 現状と課題の中に、小・中学校でも検討を進める必要があると明記しました。	教育センター
20	45	保育園等での障がい児等の受け入れ促進	どうやったら受け入れられるかという事をヒアリング調査していただきたい。難しいようであれば、別の形でのヒアリングでもよい。協力したい施設もあるので、お願いします。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 保育・幼稚園課
21	45	副籍制度による教育活動を通じた地域との交流	本人自身の交流は難しい可能性があるため、教職員が情報の共有を行なって頂き本人や家族に負担にならない様なシステムを作って欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育センター
22	45	保育園等での障がい児等の受け入れ促進	保育園での障がい児に関しては園側の受け入れ体制(看護師配置・園医との連携、緊急時体制など)をしっかりと確立し、できるだけ早急に、できるだけ利用者の希望に添える様にして欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	保育・幼稚園課
23	45	保育園等での障がい児等の受け入れ促進	また、保育園だけではなく、幼稚園、そして、義務教育に至るまでのスムーズな連携をしっかりと確立して頂きたい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	保育・幼稚園課 教育センター
24	47	I-2-2(3)子どもの成長に対する継続的な支援	すみれ教室での相談対象を18才未満の児童に拡大、手帳は保持していないが支援の必要性の高いお子さんも増加している事もあり、幼少期～学齢期(18才)迄の支援ノートを作成を提案します。	取組追加	45	【No.25に同様のご意見あり】 【事務局提案】 入園・入学などの際に切れ目ない支援を計画できるように、子どもの成長や受けてきた支援を記録する「(仮)療育記録ノート」を作成、配布し、活用します。	すみれ教室
25	48	特別支援教育巡回相談員による「就学支援シート」の活用についての指導	小学校だけではなく中学校、高校においても利用できる様に途切れのない連携を行える様にして欲しい。	改善提案	45	【No.24に同様のご意見あり】 【事務局提案】 入園・入学などの際に切れ目ない支援を計画できるように、子どもの成長や受けてきた支援を記録する(仮)「療育記録ノート」を作成、配布し、活用します。	すみれ教室
26	48	保育園・幼稚園・すみれ教室等連絡会	すみれ教室で親子通園されている方に関しても情報の提供等を行って欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
27	49	就学・進学相談	できる限り居住区に近いところでの教育が出来る様な体制を確立して頂き、家族が通学に負担がかからない様な各学校への人員配置を考えて欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育センター
28	52	子どもの発達に関する相談機能の充実	「乳幼児に関しては保健所と連携し」となると、より早期にキャッチできるのではないかと。また、この事業は「拡大事業」に当たるのではないかと。	表記表現	48	訂正しました。 なお、「拡大事業」等の記載は、第2案では削除しました。	事務局
29	52	居宅訪問型療育事業	P42にもこの事業の記載がある。「再掲」と表記すべきではないかと。	表記表現	62	【事務局提案】 「再掲」と表記します。 事業名称を「居宅訪問型児童発達支援」と訂正しました。	事務局
30	52	障害児相談支援事業	「～指定事業者を増やします。」は、障がい福祉事業計画での記載内容です。障がい児相談支援は、障がい者の相談支援とは大きく違う対応が必要と考えます。よって、子ども発達支援計画では、すみれ教室が中心となって、「障がい児相談支援事業連絡会」のような取り組みにより、障がい児相談支援に特化した情報交換などにより、相談支援がより適切に行われるようになることが重要と考えます。	取組追加	49	【事務局提案】 「障害児相談支援事業者連絡会」を実施することとして追加しました。	すみれ教室
31	52	居宅訪問型療育事業	「居宅訪問型療育事業」の担当課は、すみれ教室になっていますが、すみれ教室が行うという解釈でよろしいのか。	質問		すみれ教室が実施します。	すみれ教室
32	52	子育てひろば巡回事業	巡回して頂ける事はとても良い事なのだが、それを利用できる家族がどれだけのいるのか？利用したい家族が利用できる様な気軽に情報アクセスができる様な啓発を行って欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
33	52	障害児相談支援事業	コンシェルジュのような機能をもっと充実させて、ケアプランの作成なども親ではなく支援相談員に行なってもらうために人員の増員をお願いしたい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
34	53	障害児通所支援サービスの利用	相談支援事業者との契約や、サービス提供事業者との契約など、必要なプロセスが書かれていない。	表記表現	21 38 50	訂正しました。	事務局
35	53	各種乳幼児健康診査	現在の健診票では利用者の家庭背景などが解りにくく、昔の健診票の様にして頂き健診時に判断しやすい様に、さらにはその情報を子ども家庭支援センターとも情報共有できるようにして欲しい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	保健所
36	55	保護者研修会の実施 親子通園事業 ペアレントトレーニング事業	どれも共通するすみれ教室について、いずれも内容的には期待している事なので、それらが出来る様な人員や時間を増して頂きたいです。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
37	55	ペアレントトレーニング事業	子育てに関しては障がいのあるなしに関係なくとても良い事なので専門的なスタッフの確保と参加者の継続的な利用を重視して頂きたい。	改善提案		子ども子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室

38	57		それぞれの課での連携を重要にして、情報の二度手間を極力省いて頂き利用者が負担にならない様にして欲しい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室
39	57	障がい等の有無に関わらない学童保育クラブの受入れ	また、学童クラブでも、できれば医療的ケア児に対しても利用が可能になれる様なシステムにして欲しいです。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	児童青少年課
40	61	放課後等デイサービス事業所連絡会	市との連携だけではなく医師会や他の療育施設との連携も強化して頂き、顔の見える関係の確立を是非とも行なって頂き、円滑に障がい児たちを見守れる体制の確立をして頂きたい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 障がい福祉課
41	63	医療的ケア児への適切な支援のためのコーディネーター配置	すみれ教室の相談支援事業所にコーディネーターを配置するとしての方が、明確になると考えます。	表記表現	61	【事務局提案】 すみれ教室に配置するコーディネーターは、医療的ケア児の個別の支援コーディネーターも行き、相談支援も行います。このため、目標として配置人数を掲げました。	すみれ教室
42	63	医療的ケア児への適切な支援のためのコーディネーター配置	「～適切な支援を調整する～」とありますが、相談支援事業所の相談員が中心としてサービス調整を行うこととした場合、役割をどのように想定しているのか。	質問		医療的ケア児は、保健・医療機関との関わりが重要で、コーディネーターは、相談支援員としての資格を有した医療職を想定しています。個別の支援コーディネーターに加え、市内全体の支援機能をコーディネーターすることも想定しています。	すみれ教室
43	63	居宅訪問型療育事業	重い障がいの方も重要ですが、できれば、不登校の方々への支援の手を、すみれ教室だけではなく教育委員会(これはp64の副籍云々の方も)の方でも共有して頂きたい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 教育センター
44	65	Ⅱ-3-(2)保護者や家庭に課題を持つ家族の子育て支援	これについては、施策の方向の表記の「課題を持つ家族」というところに違和感を感じます。p65のアンケート結果から示された問10と問14の結果を踏まえると「特別なニーズのある家族への家族支援」位の方がよいように感じました。	表記表現	64	訂正しました。	すみれ教室
45	66	Ⅱ-3-(2)保護者や家庭に課題を持つ家族の子育て支援	また、施策の方向性の取組が「支援機関との情報共有」しなく、これだけでは方向性に対する取り組みとしては十分ではないと思われます。特にきょうだいの問題が問10で表れていて、他でも支援内容には触れられていないのももう少し踏み込んだ取り組みが必要に思いました。	取組追加	64	【事務局提案】 問10の分析結果から課題を記載しました。	すみれ教室
46	66	支援機関との情報共有について	いわゆる要対協を利用して実質的な活動に利用できる様にして頂きたい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 子ども家庭支援センター
47	68	まちだ子育てサイトや母子健康手帳アプリの活用	アプリを作るのは良いのですが、実質的な利用(アクセス数)はどのくらいなのか？本当に役立つ本当に信じて良い情報なのか？HPを運営するために宣伝の為に企業等を取り入れているが、信頼できる情報なのか、責任を持って取り入れて頂きたい。	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	子ども総務課
48	72	Ⅲ-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことの支援	施策の方向の表記はよいと思いました。	表記表現	68		事務局
49	73	Ⅲ-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことへの支援	交流事業とセットでインクルージョンについて触れているが、列挙された事業ではなく、そういった状況をどう作るのかが重要ではないか。もう少し踏み込んだ表現とするべきではないか。	表記表現	2 25	【No59に同様のご意見あり】 【事務局提案】 インクルージョンは、計画を全体的に進める中で目指す姿であると捉え、計画の目的に記載しました。また、取組事業すべての実施・実行を通じての目標となる「基本目標」にも記載しました。 なお、「障害児福祉計画」を子ども子育て施策と位置付けて検討している自治体はほとんどなく、町田市としてインクルージョンを目指す姿勢を表したものと考えています。	事務局
50	74	通常の学級の教員に対する指導内容の充実	この事業は有効な事業と思われる。町田市としては、研修や啓発などにどう取り組むか、入れた方がよい。	取組追加	71	【事務局提案】 通常の学級の教員の、障がい等があると思われる児童・生徒への対応について、「特別支援教育巡回相談員による支援」事業を記載しています。	教育センター
51	74	交流及び共同学習の推進	障がいとして医療的ケア児も範疇に入れて頂き共に遊べる環境整備を行なって頂きたいです。(小学校で医療的ケア児受入れ体制を整えるべき。)	取組追加	39 61	【No.19に同様のご意見あり】 【事務局提案】 現状と課題の中に、小・中学校でも検討を進める必要があると明記しました。	教育センター
52	74	Ⅲ-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことへの支援	実際の取組については、特別支援教育推進計画から3件挙げられていますが、それ以外での地域における取り組みがパラスポーツ体験会と子どもセンター・子どもクラブ整備事業(どのような環境を整えるのか具体性があるとよい)以外でもあるとよいのではないのでしょうか。	取組追加	70	【事務局提案】 「地域参加支援事業」を追加しました。	すみれ教室
53	74	交流及び共同学習の推進	保護者活動を活用してはどうか	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育センター
54	74	交流及び共同学習の推進	南4小で行われている、支援学級の児童との交流、及び低学年からの障がい児への理解を徹底して行えば、障がい児・者への理解が深まるものと思われま	改善提案		子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育センター

55	74	Ⅲ-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことの支援	障がい者スポーツを健常者に体験してもらうのも、障がい理解の一つとして良いと思いますが幼児期～学齢期の場合、体育館でのスポーツ教室、屋内プールでの水泳教室で健常のお子さんに混じって、障がいのある子も応募・参加できるというのも大事かと思えます(募集の際に一言書いてあるだけでも印象が変わります)既にこういったスポーツ教室に参加させていた友人がいましたが(コーチやまわりの子がそれなりにサポートしてくれたそうです)躊躇している家庭も少なくないと思えます。発達に凸凹や遅れがある子は、運動が苦手な場合も多いので(縄跳びのように同時に複数の異なる動きをするのが難しい)運動の苦手な子の為の運動教室は市内何か所かで開催してみてもいいかと思えます。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	スポーツ振興課 すみれ教室 障がい福祉課	
56	74	Ⅲ-1-(2) みんなが一緒に楽しみ、つながりあうことの支援	保育園や幼稚園に通園している子が障がいのある子と交流する機会がかなり限られていると思えます(該当児が在園していなければ尚更)。希望制かつ少人数で構わないので、就学前の子とすみれ教室(できれば認可)が交流する場の設定を検討をお願いします。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室	
57	77		地域の人へ向けた障がいを理解してもらえるような情報提供をもっと積極的に行なって頂きたい、情報は紙媒体、電子媒体問わずに、確か札幌市では障がい者雇用のためのpdfがあった様な。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室 障がい福祉課	
58	77	理解促進のためのリーフレット等の作成	理解促進の為のリーフレット等の作成について作成したリーフレット類を市民センターなどに置くだけでなく、皆が目を通せるような工夫をお願いします。 例:町内会がある地域なら回覧板に、市のHPならすぐ開けるようなところにリーフレットのページリンクを貼るなど。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室	
59			「施策の方向性」や個別の取組事業の「内容」等にインクルージョンについてできる限り触れるのがよいのではないか	表記表現	【No49に同様のご意見あり】 【事務局提案】 インクルージョンは、計画を全体的に進める中で目指す姿であると捉え、計画の目的に記載しました。また、取組事業すべての実施・実行を通じての目標となる「基本目標」にも記載しました。 なお、「障害児福祉計画」を子ども子育て施策と位置付けて検討している自治体はほとんどなく、町田市としてインクルージョンを目指す姿勢を表したものと考えています。	事務局	
60			事業間のつながりについて、斜めにもつながっているので、表現するべきではないか。	表記表現	【事務局提案】 事業間のつながりを明記することで、関係部署間の連携が図られるものと考えます。計画案では、「計画の背景・目的」の中で、関係機関が連携を図って計画を進めていくことを明記しました。改めて表現することではなく、計画を進めて行く上での前提であると考えています。	事務局	
61			計画の背景・目的に重症心身障がい児及び医療的ケア児に関して記載があります。 本計画の中にその子どもたちを支える医療体制についての取組みがありません。保育園、幼稚園、放課後等デイサービス等で医療的ケア児の受け入れを増やして行くためには、重要な要素です。医療体制の整備や医療機関との連携などの取り組みを追加することが必要と考えます。	取組追加	61	【事務局提案】 提案内容は、取組事業として掲載する「(仮)医療的ケア児等支援関係機関連絡会」の検討事項となるものと考えます。	すみれ教室
62			それには小学校など低年齢のうちからバリアフリー及びインクルーシブな教育を行い、ともに理解・共有できる環境を整える事が必要だと思います。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	教育委員会 (指導課?)	
63			また、行政の中で、どこにアクセスすれば情報・手続き等が簡単にできるのか、など、たらい回しにならない様にして頂きたい。	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室	
64			アンケート結果からの事ですが、民生委員・児童委員に事に関してですが(2-22.2-25)相談件数は殆ど少なく、また、不満数は他の職種に比べてダントツに高い状況。如何に彼らの活動を促進していくのか?も考えた方がよいのではないのでしょうか?	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	福祉総務課	
65			祖父母世代対象の講座・講演会を年1回でもよいので企画があればと思います。特に該当児の家庭の場合、肉親である娘・息子からより第三者からの話だと受け止めやすいという事もあるので。(すみれ教室で開催している地域公開講座で取り上げてみるのもいいかと思えます)	改善提案	子ども・子育て会議からのご意見として、担当部署にお伝えします。	すみれ教室	